

令和8年5月 国立病院機構弘前総合医療センター 受託研究審査委員会
議事要旨

- 1 開催日時 令和8年5月12日(火) 16時30分～16時45分
- 2 場 所 3階 大会議室
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり
- 4 議事概要

整理番号 8-5-1 製造販売後臨床試験 (継続)

「潰瘍性大腸炎患者を対象としたABT-494の長期安全性及び有効性を評価する
第Ⅲ相多施設共同非盲検継続投与試験」

治験依頼者: アツヴィ合同会社

安全性情報等に関する報告書が提出され、当院での治験継続の可否について審議した。
また、治験に関する変更申請書が提出され、当院での治験継続の可否について審議した。
審議結果: 承認

整理番号 8-5-2 治験 (継続)

「潰瘍性大腸炎患者を対象としてrisankizumab の有効性及び安全性を評価する
多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験」

治験依頼者: アツヴィ合同会社

安全性情報等に関する報告書が提出され、当院での治験継続の可否について審議した。
審議結果: 承認

整理番号 8-5-3 治験 (継続)

「中外製薬株式会社の依頼による中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたRO7790121の第Ⅲ
相試験」

治験依頼者: 中外製薬株式会社

安全性情報等に関する報告書が提出され、当院での治験継続の可否について審議した。
審議結果: 承認

整理番号 8-5-4 治験（継続）

「日本イーライリリー株式会社の依頼によるLY3041658(Eltrekibart)の第II相試験」

治験依頼者：日本イーライリリー株式会社

安全性情報等に関する報告書が提出され、当院での治験継続の可否について審議した。

審議結果：承認

整理番号 8-5-5 治験（継続）

「中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブとゴリムマブの導入療法及び維持療法の併用療法の有効性及び安全性を評価する、第IIb相、ランダム化、二重盲検、実薬・プラセボ対照、並行群間、多施設共同試験」

治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社

安全性情報等に関する報告書が提出され、当院での治験継続の可否について審議した。

審議結果：承認

整理番号 8-5-6 治験（継続）

「中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブとゴリムマブの導入療法及び維持療法の併用療法の有効性及び安全性を評価する、第IIb相、ランダム化、二重盲検、実薬・プラセボ対照、並行群間、多施設共同試験」

治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社

安全性情報等に関する報告書が提出され、当院での治験継続の可否について審議した。

審議結果：承認

整理番号 8-5-7 治験（継続）

「中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法としてABX464 25 mg又は50 mgを1日1回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第III相試験」

治験依頼者：(治験国内管理人)IQVIAサービシーズ ジャパン合同会社

安全性情報等に関する報告書が提出され、当院での治験継続の可否について審議した。

審議結果:承認

整理番号 8-5-8 使用成績調査 (継続)

「アルンプリグ錠一般使用成績調査 「非小細胞肺癌」」

研究依頼者:武田薬品工業株式会社

研究に関する変更申請書が提出され、当院での研究継続の可否について審議した。

審議結果:承認

整理番号 8-5-9 使用成績調査 (継続)

「バスレミ皮下注250 μ gシリンジ、バスレミ皮下注500 μ gシリンジー一般使用成績調査」

研究依頼者:ファーマエッセンシアジャパン株式会社

研究に関する変更申請書が提出され、当院での研究継続の可否について審議した。

審議結果:承認

委員会開催日 令和 8 年 5 月 12 日

委員氏名	職名等	出欠	備考
石黒 陽	受託研究管理室長	○	委員長
伊藤 佑輔	外部委員	○	弁護士◎
嶋村 則人	臨床研究部長	○	
加藤 武	統括診療部長	×	
八木橋 法登	病理診断科科長	×	
敦賀 和志	感染管理部長	○	
田中 南美英	薬剤部長	○	
工藤 早苗	副薬剤部長	○	
春口 優紀	看護部長	○	
布田 正宏	診療放射線技師長	×	
佐藤 純也	事務部長	×	非専門☆
斉藤 晃	企画課長	○	非専門☆
加藤 賢司	経営企画室長	○	非専門☆

○出席
×欠席